

令和5年12月27日

公益社団法人全国工業高等学校長協会 様

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
教育課程調査官 内藤 敬

平成30年改訂高等学校学習指導要領における工業に関する科目について（依頼）

平素よりご支援を賜り感謝申し上げます。

このたび、平成30年に改訂された高等学校学習指導要領における教科「工業」に関する科目について、次期学習指導要領の改訂において参考とさせていただきたく、学校における指導の実態等を踏まえたご意見を頂戴したく存じます。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、以下についてご検討いただくとともに、令和6年度中にご意見を賜りますようお願い申し上げます。

記

以下についてご意見がありましたら別紙様式によりお寄せください。

なお、本件は次期改訂の参考意見としてお伺いするものであることを予めご承知おきください。

平成30年に改訂された学習指導要領では、工業に関する科目及び指導項目の整理がされました。

（例：「工業数理」と「情報技術基礎」が「工業情報数理」として整理統合、「生産システム技術」と「電子機械応用」が「生産技術」として整理統合）

次期学習指導要領の改訂に向けて、各工業科目の効果的な指導に資することを目的として、科目間や科目内で整理統合した方が望ましいと思われる指導項目や、概念的・包括的な内容として扱った方が望ましいと思われる指導項目等がありましたら、別紙に科目ごとに内容と理由を以下の記入例①～③を参考にご記入ください。

記入例①：科目「○○○○」における指導項目（2）●●●●と科目「△△△△」における指導項目（2）▲▲▲▲については、……の理由により整理統合することが考えられる。

記入例②：科目「○○○○」における指導項目（2）○○○○と（3）○○○○については、……の理由により概念的な内容として整理することが考えられる。

記入例③：科目「○○○○」において、……の理由により、▲▲▲▲の指導項目を新たに設けることが考えられる

平成30年改訂 高等学校学習指導要領 教科「工業」に関する科目の指導項目について（意見）

No.	関係科目		内 容	理 由
例1	〇〇〇〇	△△△△	「〇〇〇〇」における指導項目（2）●●●● 「△△△△」における指導項目（2）▲▲▲▲の整理統合	相互に扱う事項が重複している部分が多いことから、「〇〇〇〇」の指導項目として扱うことができると考えられる。
例2	〇〇〇〇		「〇〇〇〇」における指導項目（2）●●●●と（3）▲▲▲▲を 包括的な項目として整理	（2）と（3）は細かく分類せずとも、一つの指導項目として扱うことができると考えられる。
例3	〇〇〇〇		新たに▲▲▲▲を指導項目として設ける	現在、▲▲▲▲は産業界では標準事項とされており、高校段階において学習の必要性があるものと考えられる。 但し、〇〇〇〇の要素のみの学習でもよいと考える。（程度）
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

「次期学習指導要領改訂の**参考意見**として（要望ではなく）学校における指導の実態等を踏まえた意見をいただきたい。」

期限：令和6年10月末
染谷（someya.akio@pref.saitama.lg.jp）まで